



JTUC

日本労働組合総連合会  
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.388 2023.10.5

れんごう

YAMANASHI

安心社会へ 新たなチャレンジ ~すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ~

## 連合山梨 第35回定期大会議案

連合山梨は、10月25日(水)第35回定期大会を開催し、向こう2年間の運動方針案を提起します。大会での論議のため、運動方針案を掲載させていただきますので、各構成組織組合員の皆様の論議をお願いします。なお、紙面の都合から抜粋して掲載させていただきますので、あらかじめご了承ください。

## 第1号議案 2024~2025年度 運動方針補強(案)

## ●運動方針その1

## 組織の総合力の発揮

## 【労働組合運動の活性化に向けて】

- (1) 連合が果たす使命・役割は、雇用や労働諸条件の維持・向上はもとより、安心して働ける労働環境や安定して暮らせる生活環境のさらなる前進のために、すべての働く者・生活者の代表として、政府や経営に対し具体的な対応を図ることにある。
- (2) 企業業績は、コロナ禍の影響とあいまって、ウクライナ侵略の影響ももたらした、エネルギー・原材料の価格の高騰により収益にバラツキが生じている。今後、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で、各種政策の効果を期待したい。また、労働者については(総務省統計局2023年6月)雇用者6,109万人の内、正規の職員・従業員は、同年同月に比べ36万人増加し3,638万人。パート・有期契約労働者や派遣労働者は28万人増加の2,133万人となり、3か月ぶりの増加となったが不安定とされる雇用が拡大していると読み取れる。
- (3) 労働組合の組織率は16.5%(R4年労働組合基礎調査)と前年より0.4%の減少となり、組合員数は前年比約8万6千人(0.8%)の減少となった。労働組合数は前年より346組合(1.5%)減少している。また全労働組合員数に占める連合の組合員は69.6%(0.2%増)(連合本部事務局長談話)であった。
- (4) この現状を真摯にとらえ、組織としての発信力と存在感、存在価値をより高めていくため、連合プラットフォームの考えに沿って組合員はもとより広く県民から共感を得られ社会的うねりをつくる運動へと強化していくこととする。また、現在交流がある地域団体等に、更に広がりある運動へと発展していかなければならない。
- (6) 連合のめざす「働くことを軸とする安心社会~まもる・つなぐ・創り出す~」の実現に向けて、すべての働く者の労働条件向上や平和・人権・環境など幅広い活動を取り組み、連合運動の社会的存在価値とコンセンサスの向上をめざす。また、05(れんごう)の日の活動として、これまでの本部発信コンテンツの共有・展開や連合山梨独自のSNS発信に加え、街宣行動についても強化を図る。

## 【組織拡大の取り組み】

- (1) 連合本部が掲げる「連合組織拡大プラン2030」の目標数値である2030年800万人の組織拡大目標に基づき、組織拡大を最重要課題と位置づけ、連合山梨として年間500人の人員増を目標にすべての活動を有機的につなげていく。

- (2) 組織拡大活動の推進にあたっては「必ずそばにいる存在」を合言葉に、連合山梨と各産別、各地域協議会が三位一体となった拡大行動を実施する。具体的には、組織拡大委員会を企画立案部門として活動の中心に置き、構成組織・地協と連携した企業訪問による徹底した連合山梨周知活動と組織拡大行動を推進する。
- (5) 組合員のみならず、対外的に幅広く周知・PRを図っていくため、05(れんごう)の日を活用した駅頭行動を実施する。また、新聞報道やラジオCMなどを継続するとともに、ホームページなどを活用したSNSの取り組みを強化していく。
- (6) 連合山梨三役産別は、組織拡大に向けた牽引役として先頭に立った拡大行動を展開していくこととする。一方で組織拡大対策会議については継続とし、組織拡大集会または研修会を開催し、より実践的な活動に繋げていく。
- (7) 地域協議会は、引き続き会議の議題に組織拡大を取り入れるとともに、地区協議会と連携し企業情報や地域内単組の組織拡大状況などの情報収集を行うなど、より論議を深め、機会を逃さない体制を構築していく。小委員会で行う企業訪問活動では、各地協リストの有効活用により、これまで以上に訪問活動を行うことで拡大に繋げていく。

## 【財政基盤の確立】

2026年1月から「中央会費制度」への移行に向けて、連合本部と連携を密にして取り組んでいく。また、「外部監査(公認会計士)と内部監査チェックシートの活用、自主管理・自主点検作業の実施」を的確に実施する。この他、予算執行については、複数業者からの合い見積もりやインターネットでの平均相場の事前チェック、そして費用対効果を検証するなど効率的・効果的運用をより一層強化する。

## 【機構と活動】

- (4) 新型コロナウイルス感染症の5類変更に伴い、コロナ禍前の集合を基本とした形態に戻していくと共に、機関会議や課題別委員会においては、引き続きコロナ禍に用いたWEB会議などの活用も検討していく。

## 【地域組織の活性化】

- (5) 連合組織内での連携強化をするために、連合山梨の主催する各種イベント・学習会に、参加しやすい環境を構築する。また、各地協・地区協との認識合わせの対話会について検討する。

## 【女性活動】【青年活動】【産別部門連絡会】

## 【事業団体との連携】【関係友好団体との連携】

## 【山梨退職者団体連合との連携】については省略

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内  
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>  
E-mail: [info@yamanashi.jtuc-rengo.jp](mailto:info@yamanashi.jtuc-rengo.jp) 発行人 田中好久Facebook  
いいねしてね!

連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



●運動方針その2

心ゆたかで公正な社会づくり  
～将来に渡る安心社会の実現～

【2024春季生活闘争の推進】

(1) 関東財務局による県内経済情勢によると、「緩やかに持ち直している」とされている。また、雇用情勢については「一部に厳しさがみられるものの改善が進んでいる」とし、おととし1月以来、29ヶ月ぶりに下方修正された。(8月現在)

一方で、国際情勢や国内の景気動向など不安定な状況が続いている。国民経済を安定的な成長軌道に乗せていくためにも、問題意識の共有が必要であり、今後も経済団体との意見交換等を通じ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に取り組む。

【公務員制度改革への対応】

(1) 公務員制度改革基本法を基礎として公務員制度改革が進められてきているが、長時間労働の是正に関しては、超過勤務に関する「上限規制超え」の実態が改善されないなど課題が残されており、今後も環境整備に向けて取り組んでいく。

(2) 人事院は、8月7日に、給与・一時金の引上げと在宅勤務手当の新設を勧告した。これを踏まえ、地方公務員(山梨県職員)については、10月に山梨県人事委員会において勧告がされるが、人事院勧告と同様の引上げが行われるよう取り組む。

【地方行政への対応】

(1) 政策制度要求と提言の活動は、すべての働く者・生活者に関わる取り組みであり、連合運動の重要な柱の一つである。各産別からの意見・要望を連合山梨政策・制度委員会において集約し、地域(地区)協議会と連携しすべての自治体への提言をめざす。

【最低賃金制度の取り組み】

2023年度の山梨県地域別最低賃金は40円増の1時間あたり938円で決定した。しかし、自立して生活できる賃金と最低賃金との間には引き続き大きな格差が存在している。連合山梨は早期に1,000円の水準をめざし、全国との格差を解消していくため最低賃金審議会において継続して引き上げを求めていく。また、最低賃金制度の遵守に向けた県民への周知活動を行うとともに、労働局や経営者団体への要請行動などを通じて、違反撲滅に向けた行政指導を強く求めていく。

【なんでも労働相談ダイヤル・法律相談窓口】

(1) 労働相談センター東日本と連携し、面談を希望する相談者、労働組合結成に向けた相談など、組織化に繋がる案件を中心対応していく。対応にあたっては、フェアワーク推進センターと連携し、組織化に繋げていく。

【フェアワーク推進センターの活動】

連合本部主催のフェアワーク推進センターの取り組みを積極的に取り入れ、引き続き県内街宣行動、ラジオCM、労働相談からの組織化に対して、組合づくり相談員と連携した取り組みを強化する。労働組合の存在しない職場で働く労働者や、パート・派遣など弱い立場にある労働者への問題喚起と安心を提供し、さらなる組織化の推進を図る。

【男女平等参画・ジェンダー平等の推進】

(1) 「連合山梨ジェンダー平等推進計画 フェーズ1」の目標である「労働組合における男女平等参画」と「職場・社会におけるジェンダー平等の推進」をめざし、組織対話や組織実態調査を通じた各組織の取り組み状況の把握、および研修会などを通じた意識改革に取り組む。

(2) 2024年10月にスタートする、連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2に向けて、女性委員会と連携し、連合山梨としての活動計画を立案していく。

【ワーク・ライフ・バランスの実現】【中小企業職場の支援】

【フェアワーク推進センターの活動】

【人口減少・超少子高齢化問題への対応】

【審議会・懇話会などの対応】【産別課題への取り組み】

【労働審判制度】【ワークルール検定】については省略

●運動方針その3

政治への信頼と参加を高めよう  
～政策実現に向けた政治活動の推進～

【政治活動の意義】

職場の課題や労働条件等については労使協議を通じて改善が図

られる。しかし、私たちの雇用や生活に直結する問題は、政治の場で議論・決定されていく。労働法制・社会制度・景気や雇用対策など、私たちの運動の柱である政策制度提言に係わる法整備等が、労働組合活動の延長線上にある政治活動に直結する。このことから私たち勤労者・生活者の視点に立った政治を求めていかなければならない。労働組合として、我々の考えや現場の状況を正確に政治の場へ伝えていくことこそが課題解決への道である。

組織内議員をはじめ友好議員、そして勤労者・生活者にスタンスを置く政治家と幅広く連携し連合山梨の政策実現を図っていく。そのためには、目的と政策を共有する政党および政治家との連携体制をより強化し、組合員の理解のもと政治活動の前進を図る。

【選挙活動への参画】

日本の投票率は世界的に見ても残念ながら大変低く直近の国政選挙ではいずれも50%前後で停滞している。今後SNSやインターネットを活用した政治活動・選挙運動を本格的に展開し政治への関心を高め、投票率向上に向けた、方策を生み出していかなければならない。

「働くことを軸とする安心社会 一まもる・つなぐ・創り出す」の実現に向け、目的と政策を共有する政党および政治家との協力関係を重視し、積極的に政治活動を推進する。

【国政選挙】

第50回衆議院解散総選挙は、立憲民主党・国民民主党の県組織と連携すると共に、連合山梨は組織の総力を結集し、候補者の完全勝利に向けた取り組みを展開する。

【その他の選挙】

推薦候補者については、これまで以上に各構成組織、地域協議会(地区協含む)とも連携を強化して選考していく。具体的取り組みについては、三役会議ならびに執行委員会に図りしっかりと議論する中で対応していくこととする。

【政治センターの機能発揮】

(1) 組合員一人ひとりが政治の重要性を認識し、政治課題への意識啓発と問題意識の共有を図るため、連合山梨支援議員や立憲民主党山梨県連・国民民主党山梨県連等の関係団体と連携した取り組みをさらに強化する。

【地方政治の活性化】

(1) 連合山梨議員懇話会所属議員との意見交換を通じて、山梨県内における政策実現力の強化はもとより、なり手不足の解消を含む地方政治の活性化に向けた有効策を検討する。

【県内政党との関係】については省略

●運動方針その4

国際連帯と平和・環境など国民運動の推進  
～願う平和から叶える平和～

【平和運動の推進】

(1) 平和への願いを訴え続けるため、連合の「平和行動in沖繩・広島・長崎・根室集会」へ積極的に参加していく。

【国際連帯活動の推進】【環境問題への対応】

【国民運動・県民運動の推進】については省略

●運動方針その5

安全・ゆとり創造・文化活動・福祉活動の推進  
～支え合う社会の推進～

【安全・安心の取り組み】

(1) 「連合労働安全衛生取り組み指針」に基づき、労働災害の発生状況の把握や人材育成など、継続性が重要な「安全衛生」の各種研修会の開催と、その効果を活かした構成組織への水平展開の充実を促進するためにも、労働災害防止に向けた労働組合の主体的な取り組みを進める。具体的には、産業安全衛生大会の参加等を推進する。

【ゆとり創造事業の実施】【ボランティア活動の推進】

【ふれあい基金活動】【各種団体の事業支援】については省略

以上

フルバージョンは、  
所属の組合にお問い合わせ下さい。

8

21  
MON**組織対策委員会 職場見学会**

ご協力：株式会社キトー様

8月21日(月)地域で働く仲間の職場を訪問し、見識を深め相互理解を図る目的として、株式会社キトー様のご協力により、職場見学会を開催し、組織対策委員を中心に24名が参加しました。

株式会社キトー様からは、木村経営管理本部長からご挨拶いただき、前キトー労働組合委員長の花輪ホイスト製造部長から工場概要をご説明いただきました。

1932年東京・大森に「鬼頭製作所」として創業し、1983年に山梨県昭和町へ移転してから今日までの変遷や、CSR活動として、障がい者雇用率7.08%(2023年6月時点)と法定雇用率2.3%を上回っていること、「日本障害者スキー連盟」とゴールドパートナー契約を締結し競技者の支援をしていることなど、丁寧に説明していただきました。

工場見学では、フレーム加工やキトー製品の生命線であるチェーンの製造過程などを見ることができました。また、厳しい検査や徹底した品質管理についても説明いただき、製造品の美しさや細部にわたるこだわりを知ることができました。また、安全衛生や環境対応についてもご説明いただき、今日的課題に対する会社としての対応や今後の方針についてもお話しいただきました。

見学者からは、工場の機械化におけるメリットと今後の課題について、安全管理における工場内の注意喚起、人材育成についてなど、働く仲間としての忌憚ない質問意見が出されました。

本見学会に際して、キトー労組櫻井委員長を始め、株式会社キトーの皆様には日程調整や事前の準備等ご尽力いただきました。大変貴重な体験をさせていただきまして、ありがとうございました。

連合山梨 組織対策委員会 委員長 原 和之



9

13  
WED**2023連合山梨 政治フォーラムを開催**

9月13日(水)ジット甲府プラザにおいて、約120名参加のもと、政治フォーラムを開催しました。

冒頭、窪田会長は、「連合の支持政党は旧民主党の流れをくむ立民と国民の両党に分裂しており、組織票分散が課題となっている。このフォーラムを通じて次期衆院選で両党が一つになって選挙態勢を構築できることがカギとなっている。解散をしてから推薦したのでは勝利に結びつかない。意識合わせ、心合わせをしていきたい。」と挨拶をしました。

特別講演では、輿石東元参議院副議長、大島章宏元経済産業相、斎藤勁元内閣官房副長官を招いて「第50回解散総選挙に向けた戦術について」と題し、お話をいただきました。一人20分という限られた時間の中でしたが、日本の政治史や政治の混迷について分かり易く説明していただきました。政治にはバランスと緊張感が必要であり、国民の生活を守るため、働く者と市民が力を合わせて活動を展開することが必要であることを確認することができました。

その後の意見交換では、参加者からの質問に対して、三人の講師より思いの込められた答弁がされました。最後に白倉連合山梨政治センター長より、解散総選挙に向けて連合山梨の団結を誓う挨拶で締めくくられました。

連合のめざす政策実現に向けて、今後も継続した活動を行なっていきます。

事務局長 田中 好久

9

20  
WED**2023連合山梨組織拡大研修会を開催**

連合は『連合組織拡大プラン2030』を掲げ、地方連合と構成組織が一体となり「組織拡大(仲間づくり)、の活動を推進しています。

連合山梨組織拡大活動の一環として、9月20日(水) 労農福祉センターにて、構成組織の組織拡大担当者24名の参加により「2023連合山梨組織拡大研修会」を開催しました。

冒頭、主催者を代表して窪田会長より「少子高齢化や若者の県外流出といった社会問題を背景に組織化も厳しい状況が続いている。しかしながら隣県では山梨県より組織率が高いという実態もある。組織拡大研修会をきっかけに今後の組織拡大の取り組みを加速させて欲しい」との挨拶がありました。

研修会では、UAゼンセン、JAMより、組織拡大に関する活動報告をいただいた後、4つのグループに分かれて「組織拡大活動を前に進めるには？」をテーマにグループディスカッションを実施しました。

各グループの発表では、これまでの課題である「組合づくりを支援する人のスキルアップ、や「キーパーソン」の発掘方法、に加え、「社会への連合運動のPR、といった意見が多く出され、今後の組織拡大活動のヒントを得ることができました。

結びに、連合山梨構成組織の心合わせで組織拡大に取り組んでいくため、フェアワーク推進センターの田中副センター長の掛け声による「組織拡大ガンバロウ！」で締めくくりました。

これからもみなさんと連携し、組織拡大を推進していきますので、更なる仲間づくりの活動へのご協力と取り組みをお願いいたします。

副事務局長 大森 竜



9 3~5 平和行動in広島

戦争のない世界! それを私たちはめざさなければならない。



やっぱり、核兵器はダメだ!  
いやっ、そもそも戦争なんかするから、兵器が欲しくなる! いかなる兵器もいらないし、戦争もやってはならない。

今回の連合山梨が独自に企画した「平和行動in広島」に参加し、大変勉強になりました。参加人数を絞って実施したおかげで、密度の濃い平和行動ができました。

初日は、G7各国首脳らが訪問した宮島を訪れ平和の尊さを実感しました。2日目は呉で潜水艦や戦艦「大和」を見て、さまざまな技術の必要性を理解しながらも、それを兵器として利用することに疑問を感じました。



そして、広島平和記念資料館。かつて訪問したことがありましたが、その時とは違う思いが生まれました。あまたの入館者が誰一人言葉を発することができない。それどころか、息遣いが聞こえてきそうなほど静まり返っていました。日本はこの70年戦争をしていませんが、世界中では戦争が絶えません。核兵器使用をほのめかすリーダーまでいます。戦争のない世界! それを私たちはめざさなければなりません。

3日目、1時間30分ほど語り部さんから話を聞くことができました。時間にも余裕があったため普段は行けない場所も訪れることができました。

今回の平和行動に参加できたことに感謝します。

連合山梨 副会長 岡本 昌也

平和行動in広島参加者		
氏名	産別名	単組名
○岡本 昌也	UAゼンセン	UAゼンセン
名取 哲也	自治 労	自治 労
的場 寛	日 教 組	山 教 組

(敬称略)

9 8~10 平和行動in根室

平和行動in根室につきましては、台風13号の接近に伴い、連合関東ブロックより中止連絡を受けて、連合山梨団(全4名)の派遣を取りやめました。

当選御礼

皆様のご支援に感謝申し上げます

【葦崎市議会議員選挙】 2023年10月1日(日)投開票  
投票総数 12,173票 投票率 51.15%

き うち よし ひで  
木内吉英氏

665票(当選) (10位)



わた なべ よし ひこ  
渡辺愛彦氏

446票(当選) (14位)



ヴァンフォーレ 甲府!

『ホームゲームチケット』の抽選について

指定席 箇所 J1Tリサイクルインクスタジアム  
メインスタンド  
B7列 102番・103番

詳細 連合山梨事務連絡292号、もしくは  
連合山梨ニュースNo.380(申込書付き)を  
ご確認願います。

申込方法 申込書(コピー可)にご記入のうえ、  
観戦希望日2週間前の金曜日 午前中まで  
に連合山梨へお申し込み下さい。

■2023明治安田生命J2リーグ ホームゲーム試合日程  
第41節 11/3(金・祝) 13:05 ロアッソ熊本

※ご不明な点はご自身の加盟されている労働組合へご確認下さい。